# 今るるが彼 せの ながまま。-まちの外国人さん-

市民広報員のみなさんが、長浜市に住む外国人の方を紹介 するコーナー。今回は、森川由美子さんと池田猛治さんに 取材していただきました。



エラル (公園町ルディン フ村 イリピン)

#### 親切にしてもらったお礼に英語教室

○日本にはいつから 11年前に、長浜へは8年前から ○長浜に住んでみて

最初は言葉も生活習慣もわからなくて悩みました。 でも、他の国に来たんだから努力しようと思ってが んばりました。そんな時、娘の友だちのお母さんが 学校のことを教えてくれたり、近所の人が煮物の作 り方を教えてくれたりして、とてもうれしかったで すね。

#### ○近所で英語を教えているそうですね

親切にしてもらったお礼にと、近所の子どもたち から教えはじめたのですが、今では、たくさんの子 が習いに来てくれています。私自身学ぶことも多く、 教室を通して活動の輪が広がりました。



#### ○今までを振り返って

長浜での生活を通して、「言葉や習慣の壁があって も、自分から壁をとれば相手もとってくれる。本当 の自分を出したら相手も理解してくれる」ことを学 びました。改めて人間はみんないっしょなんだと感 じましたね。

《取材を終えて》ジェラルディンさんの明るく前向き な姿勢に感動しました。私たちの少しの親切に喜んで もらえることを改めて感じ、同じ長浜の住人として、 心を開いて接することが大切だと思いました。



#### 明治の迎賓館 慶雲館(港町)

長浜盆梅展の会場で知られる慶雲館は、明治20 年、明治天皇の長浜行幸啓を機に、長浜の豪商・ 浅見又蔵氏が建てたもので、「慶雲館」の名も、当 時の総理大臣・伊藤博文公が命名したとされます。

行幸啓後も、浅見家の別荘として多くの賓客を 迎えた慶雲館は、昭和11年、公共のためにと当時 の長浜町に寄贈されました。その後、昭和18年に は旧長浜市の初議会会場として、昭和27年からは 盆梅展の会場として、昭和34年から40年には市営 結婚式場として利用されてきました。

慶雲館には歴史をしのばせるものが数多くあり ます。例えば、庭園は、近代日本庭園の先覚者で 平安神宮の庭園などを手がけた小川治兵衛の作で、 このほど国の名勝に指定されました。庭先には、 茶室や芭蕉の句碑、浅見氏がひいきにした力士像、 琵琶湖に面していた往時をしのばせる船着場跡な ど、館内には盆梅に感銘を受けた数々の文化人が 残した書や軸などがあり、よく見るといろいろな ものが発見できます。盆梅とあわせ、それらを探 してみるのはいかがですか。





敷地内を歩くといろいろな発見が!



### 木の机イスを作ろ

校舎が新しくなった長浜南小では、木のぬくもりを 感じ、物を大切にすることを学んでもらえたらと、 4~6年生が机とイスの組立作業を行いました。 自分が作った机で授業を受けるのが楽しみだね。



#### 練習の成果を披露

かわいい児童合唱団やブラスバンド、風流な大正琴 など、様々な音楽が発表された「浅井音楽祭」。出 演者は、楽しそうに日ごろの練習成果を発揮し、客 席からは、賞賛の拍手が沸きあがっていました。

(取材:市民広報員清水恵子さん)



このコーナーでは、市民のみなさんの活動の様子や、 まちで見かけたほっとな話題をご紹介します



### 楽しい時間をプレゼント

知的障害のある方と家族を対象に、社会福祉協議会が 主催した「ハッピークリスマス会」。参加されたみな さんは、ボランティアの方のハンドベルや和太鼓、コ ンサートなどで楽しい時間を過ごされていました。 (取材:市民広報員池田猛治さん)

## 九十年ぶりに曳山勢ぞるい



長浜八幡宮に勢ぞろいした曳山(大正4年撮影)

今年4月の長浜曳山まつりは、長浜八幡宮境内に曳山12基が勢ぞろい することになりました。八幡宮に勢ぞろいするのは、大正6年以来、90 年ぶりのことです。予定では、4月14日の登り山で曳山12基がそろい、 翌15日には、その中で子ども歌舞伎が上演される予定です。

#### 今年は桟敷席がありません

毎年、本日の15日には、長浜八幡宮に桟敷席を設置していましたが、 曳山12基の出場で設置場所がなくなるため、今年の桟敷席はありません。 お問合せは、市観光振興課(☎億6521)へ。

### 梅の杳ただよう盆梅展

1月10日(水)~3月11日(日) 午前9時~午後5時

新春の風物詩、盆梅展にぜひお越しく ださい。(裏表紙に関連記事)

この券を持参の方を含む2人に限り、期間中、 2割引で入場できます。 平成19年1月10日(水)~3月11日(日) 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)

この券を持参の方を含む2人に限り、期間中、 2割引で入場できます。 平成19年1月10日(水)~3月11日(日) 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)